

## 見える世界と見えない世界をつなぐ 映画の音声ガイドが教えてくれること

目の不自由な方々は、映画の音や台詞を聴き、映像を想像しながら楽しめます。その想像をより鮮明にするのが「音声ガイド」の役割です。台詞の合間や場面転換の短い時間制限の中で、何を選びとり、どのような言葉で表現するか？その選択によっては、映画の世界を壊しかねません。自分が「見ているようで、見えていなかったこと」を視覚障害者の方が敏感に感じとる場合もあり、共に音声ガイドを制作することで、感性が開かれていきます。私たちに映画をより細かく、深く、大切に観ることや、他者とのコミュニケーションの難しさ、奥深さに気づかせてくれる音声ガイドづくりの裏側を、日本初のユニバーサルシアターを設立し、今年のカヌ国際映画祭でエキュメニカル賞を受賞した河瀬直美監督の「光」にも携わった講師に、事例を交えてお話しいたします。

### 講師

**平塚 千穂子（バリアフリー映画鑑賞推進団体シティ・ライツ代表、シネマ・チュプキ・タバタ代表）**

1972年生まれ。早稲田大学教育学部教育学科卒業後、飲食店や映画館に勤務。2001年4月、City Lights を設立し、映画館「早稲田松竹」を退職。以後、視覚障害者の映画鑑賞環境づくりに従事。2003年、第37回NHK障害福祉賞の優秀賞を受賞。2016年9月、日本初のユニバーサルシアターCINEMA Chupki TABATA を設立。その功績が讃えられ、第24回ヘレンケラー・サリバン賞を受賞。



### ゲスト

**植村 要（株式会社図書館総合研究所 特別顧問、立命館大学人間科学研究所 客員研究員）**

1968年生まれ。1975年、スティーブンス・ジョンソン症候群で失明。2014年、立命館大学大学院先端総合学術研究科修了（博士、学術）。2016年4月から現職。現在は、視覚障害者が快適な生活を作るための環境の一つとして文字情報のアクセシビリティに注目し、電子書籍や電子図書館の利便性向上に向けた体制整備について研究。2012年度第14回情報通信学会論文賞の佳作を受賞。

### 開催概要

- 日時：2017年11月24日（金）19:00～21:00（18:30開場）
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：1000円
- 申込方法：来館（1階受付）、電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）いずれかにて、  
①講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。

〈 お問い合わせ先 〉

日比谷図書文化館 広報担当：中澤 nakazawa-hiroyuki@shopro.co.jp / 並木 namiki-yuri@shopro.co.jp  
〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-4 TEL：03-3502-3342 / FAX：03-3502-3341